

# 芦屋の手仕事 ものづくり

## 第一熱研株式会社

見えないものを測る技術

ガス濃度計を製造している第一熱研。一般にはなじみのない製品ですが、鉄鋼・半導体等の製造

工程に多く使用され、環境・医療・食品等身近な分野でも使用されています。例えば、ボイラーや焼却炉等の煙突から出てくる排ガスも酸素濃度を測定することにより、適正な燃焼管理を行い、環境保護の一助となっています。また、スナック菓子の酸化を防ぐための袋詰めには充填する窒素ガスの管理等にも活用されています。

これからもガス濃度計を通して地球・人・社会への貢献を目指し、高品質な製品開発に挑戦し続けます。

### 第一熱研株式会社 中川社長

「主要部品の多くを子育て中のお母さんたちにパートタイムで製造してもらい、重要な戦力として活躍いただいています。子育て・趣味等、お母さん達にも有意義な時間を作ってもらえる勤務形態となっています。」



1 テスト中の機器がずらりと並ぶ 2 組み立てられる細かな部品 3 子育て中のお母さんたちが主戦力になっている 4 組み立て中の機器 5 組み立て終えた機器は入念にチェックする



住宅都市のイメージがある芦屋市ですが、市内には「ものづくり」産業・商業の会社やお店がたくさんあります。今回は、産業機械・コスメ・スイーツ・衣料・健康とさまざまなジャンルの『メイド・イン・芦屋』を作り出す会社・お店取材しました。芦屋で半世紀以上造り続ける会社や、芦屋から世界へ広がろうとする会社まで、それぞれの「ものづくり」に対する熱い想いを紹介します。

## Made in ASHIYA を作りつづけて

昭和16年から芦屋に本社を構え、靴下を作り続ける稲坂莫大小製造株式会社。海外・国内の工場数カ所の協力を得て、年間100万足の靴下を生産しています。芦屋の本社工場でも、この道一筋60年の経験を持つ大ベテランの職人が靴下を作っています。昔から使い続けられる編機には、いくつもの糸が連なり、小気味良いリズムで次々と靴下が編みあがっていきます。ズラリと並ぶ年季の入った編機は、オートメーション化された工場と違い、職人によるキメ細やかなメンテナンスと調整を必要としますが、優しい風合いの靴下が仕上がります。

市内に店を構える「自然素材の服と手しごと mokono」オリジナルの『日々のクネクネくつ下』もその一つです。



### 稲坂莫大小製造株式会社 稲坂社長

「この工場の編機を操るには、経験が必要です。これからも続けるために、後継者を育てることが課題です。」



1 大量の商品でも丁寧な手作業 2 mokonoの「日々のクネクネくつ下」は優しい履き心地 3 編みあがった靴下を1つ1つ手作業で縫製 4 年季の入った編機は、これからも古き良き伝統を引き継いでいく

いなさかメリヤス  
稲坂莫大小製造株式会社

第一熱研株式会社 西蔵町13-22 ☎ 31-2410  
 稲坂莫大小製造株式会社 業平町6-7 ☎ 31-3898  
 自然素材の服と手しごと mokono 大樹町2-20 ☎ 57-0135  
 Konditorei Stern 芦屋 東山町1-10 ☎ 34-5673  
 株式会社 THE HERBS 南宮町3-10 ☎ 23-0364  
 有限会社 酵素科学研究所 大東町2-4 ☎ 32-5273

問い合わせ 広報国際交流課 ☎ 38-2006